



社会デザイン協会
活動イメージ



営業（メディア活用による）
コンサル（計画策定一起業地域
産業協力隊派遣）

（収入）自治体・行政・地域づくり協議会

（収入）コミュニティ図書館運営

（収入）メディア広告（WEB、写真、動画、VR）

起業地域産業
協力隊（リー
ダー＋隊員）

起業地域産業
協力隊
（AIC）候補

ファン制
度（クラ
ファン）

会員
（協会活動
支援）

協会としては、

- ・自治体・行政・地域づくり協議会等への営業
- ・起業地域産業協力隊（AIC：アイク）候補生の募集
- ・地域社会デザイナー（起業地域産業協力隊の教育係）の育成
- ・起業地域産業協力隊間の情報流通基盤の整備
- ・（研究所）社会デザインに関する研究活動・研究プロジェクト支援

オンラインスクールにて育成活動（講師は、協会教職員）

ALスクールにて育成活動

情報提供活動（起業地域産業協力隊からの地域情報発信会の開催、メルマガ）

※ファン制度は、会員として参加するのか、協会運営として参加するのかを見極めるための制度

社会デザイン協会が提供するもの

○ 開かれた地域づくり

主に日本人の高等教育のあり方を考える
SDG s 社会デザイン学

親子の教育を考える
言葉塾

真のグローバル人財を考える

真のDXは
人づくりから

協力関係団体

地方創生SDGs官民連携プラットフォーム
地域人材育成のための分科会

一般社団法人グローバル教育研究所

特定非営利活動法人なかよし学園プロ
ジェクト

⋮
⋮

提供するサービス：

地域づくり教育カリキュラム—SDG s 社会デザイン学—地域社会デザイン士

コミュニティ図書館—産民学連携の地域づくり拠点

エドベン大学—SDOC（シェアリング分散オープンキャンパス）

留学生就職塾—特定技能試験対策を中心として留学生の就職支援を行う

言葉塾—英語、日本語、プログラミング：3つの言語を融合的に学ぶ

地域社会デザイナー検定のご案内

- 地域社会デザイナー検定のご案内

レベル	期間	合格率	受験料
地域社会デザイナー初級	1日（研修＋試験1回）	75%	3,900円
地域社会デザイナー	3日（研修＋試験1回＋AL）	50%	7,800円
地域社会デザイナージュニアプロ （JP）	最低一か月間の地域研修 ※地域社会デザイナーの資格保有		
地域社会デザイナープロ	最低一年間の地域研修 ※地域社会デザイナーJPの資格保有		

- 体験実地研修（6日間） 39,000円
- 年に一回更新講義（1日）（3,900円）：地域社会デザイナー初級研修と同一

SDGs 社会デザイン学 カリキュラムA

第1回	SDGs 社会デザイン学のフレームワーク	木を見て森を見るための学問体系の説明。あらゆる失敗から学び、原点を見つめ直す。
第2回	Limited Earth視点（もったいないの底流的思考）	地球は有限、この原点から始まる禅の思想、もったいないの考えを学ぶ。
第3回	人口減少社会における経済活動	今までの経済活動は人口増加を前提としている。そのことを意識しながら、地域課題の本質を考える。
第4回	地域づくりのレジリエンス	多くの地域づくりでは観光を中心とした地域資源に注目するが、地域資源はそれとは違う。地域資源の考え方を学ぶ。
第5回	生活の豊かさとは（江戸時代の日本社会）	江戸時代の庶民の生活に焦点を当て、その時代の幸せを考える
第6回	シェアリングエコノミー現象	仙台のレンタルサイクル事業の事例を基に、現在のシェアリングエコノミー現象を分析する
第7回	協同組合の思想（賀川豊彦が求めたもの）	立体農業を紹介しながら、幸せな社会の形を考える
第8回	自然環境学	バイオリージョンの考え方に基づく地域づくり（藩の地域づくりの事例をもとに）
第9回	脱経済成長の経済学	ローマクラブ「成長の限界」を紹介しながら、そこでの指摘を検証する
第10回	社会的連帯経済学	「社会的連帯経済入門」を紹介しながら、幸せに生活できる社会を検証する

(情報を軸とした) 産官学融合型の地域づくり拠点の構成要素

自立するための域内経済と豊かさをもたらす域外経済

域内経済: 地域循環通貨

- 例: ウェルチョコの活用 (地域循環通貨の獲得)
- みんなのカフェ食堂に納入する食材の支払いは、ウェルチョコにて。
 - 売電できた分の住民への支払いはウェルチョコで。
 - 地域コンビニや産直センターではウェルチョコで購入できる商品も陳列。
 - 産直品(野菜など)を納入すると、ウェルチョコの獲得。



- 例: 地域経営(地域商社)活用
ウェルチョコ対象商品取り扱いメーカーとして登録
- 協同組合組織を組成し、地域の資源を活用した商品を開発し、外販する。
 - 獲得した外貨は、組合員で分配するとともに、組合基金として蓄える。

域外経済: 外貨獲得

- (地域循環通貨の利用)
- みんなのカフェ食堂にて利用可能。
 - 地域コンビニや産直センターにおけるウェルチョコ対象商品の購入。
 - 朝飯前の仕事の報酬をウェルチョコによる支払い。

Confidential Society Design Association

域内と域外の経済的交流の増加

域内メンバー 域外メンバー

コワーキングスペース利用者やチャレンジショップ
活用による新しい店の創出。ウェルチョコによる
買い物客の誘引。→消費行動データの収集。

今がわかる
マーケティング
データ

行動データの活用

産からの観点
消費行動データの
情報銀行

産民学融合型の地域づくり拠点

SDOC

行動データ

地域特有課題・解決

民からの観点
学から発生
する交流の
創出

域内メンバー

コミュニティ図書館機能の中から、情報交換会や域間交流企画(オープンゼミへの参加)、
図書館利用等地域住民の交流

大学教員による、地域への積極的アプローチ(セミナー等開催)が可能。

地域でのアクティブラーニングによる
環境学習行動データ

座学(TSPモデル
電子テキスト利用)による
読書行動データ

域内メンバー 域外メンバー

コミュニティ図書館機能の中から、大学(シェアリング)キャンパスを利用。登録している大学の学生が利用対象。

地域産業の創出、起業促進

可視化された地域活性化活動

(たとえば) 地域活性化活動の拠点としてのコミュニティ図書館

【個別イメージ】

拠点

地域循環通貨で
地域内経済の循環を促す

留学生就職塾
主に留学生の就職支援を行う。
そのための、日本語教育、ビジネス教育を行う

コミュニティ図書館（地域づくりに必要な機能の集まり）

【空きスペース利活用ー5G+Society5.0+再生可能エネルギー等研究実証拠点】

地域図書館+大学等サテライト研究室+みんなのカフェ食堂+産直センター+コワーキングスペース+チャレンジショップ+仮設宿泊研究+データセンター+研修センター（留学生就職塾+言葉塾+大学サテライトカレッジ）

受講科目によって、
大学卒業資格修得可能

会員動画は、住民メディアの素材として地域おこし協力隊メンバーが集める。そこで集めた情報は、地域情報としてHPにまとめる。そのHP、及び動画は広告収入を主とする。また、セミナーや勉強会を開き、講師収入も検討する。

物々交換のやり取りは会員間とし、会員以外は送料にて購入できるようにする。（会員登録は、バスで移動できる範囲内）

本校へ児童の送り届け

ここにある機能は一部利用でも全部を整えても可

学校（行政）が準備



スクールバス（将来的には電気バス）ー充電はカートリッジ式を検討。カートリッジ式充電には、再生可能エネルギーによる充電

みんなのカフェ食堂イメージ

産直センターイメージ



地域住民の方が捨てるような要らないものー朝までにコミュニティ図書館へ集める

地域住民（主に、半農半Xの住民）

物々交換したもの

物々交換が成立した商品のお届け

（この際、成立していない商品でもいらぬものは回収する。）←この商品は、コミュニティ図書館に置き、物々交換した商品を優先に、残っているものは先着で販売もする。さらに残ったものは、みんなのカフェ食堂にて提供する。

届けるのは、主に地域おこし協力隊のメンバー（ウェルちょ交換品を届ける、買い物代行や便利屋の仕事は、ウェルちょにて支払い）

エドベン大学 (オープンネットワーク型地域人財教育プロジェクト) とは

SDOC (シェアリング分散オープンキャンパス : 学学連携) の集合体

- 産学民共創による地域人材育成プロジェクト
- エドベン大学の目指すところは、オープンデータドリブン教育

【ここでのデータは参加教育機関で共有し、教育の質を図る】



エドベン大学

キャンパスは
SDOC+社会

コミュニティ図書館機能

- 【地域図書館】 : 図書館蔵書は退官大学教員を中心とした寄付の本。必要であれば寄付者には電子書籍として提供。行政窓口兼務可。
- 【サテライト研究室】 : 談話OKのスペース。カフェ併設。地域図書館に遊びに来た大学教員のゼミ (地域住民も参加できる) 開催もOK。(地域連携モデル)
- 【コワーキングスペース】 : チャレンジショップも併設。
- 【産直センター】 : チャレンジショップも併設。
- 【仮設宿泊】 : 災害時仮設宿泊研究もできる宿泊所。ゼミ合宿の宿泊施設としても利用可。
- 【研修センター】 : 留学生就職塾 (日本語学校兼ねる) + 大学サテライトカレッジにもできる。
- 【シェアリング分散オープンキャンパス (SDOC)】 : オープンネットワーク型大学キャンパス
- 【データセンター】 : 情報分析用データ拠点。IT接続ハブ。電源は自然エネルギーを活用。通常のデータセンター一部貸し出しのほか、情報銀行までの進展を検討。



読書行動、観察行動の情報を蓄積

コミュニティ図書館を中心に社会に貢献する科学を学ぶための **教養** と **思考法** を修得するための座学とALを展開

座学

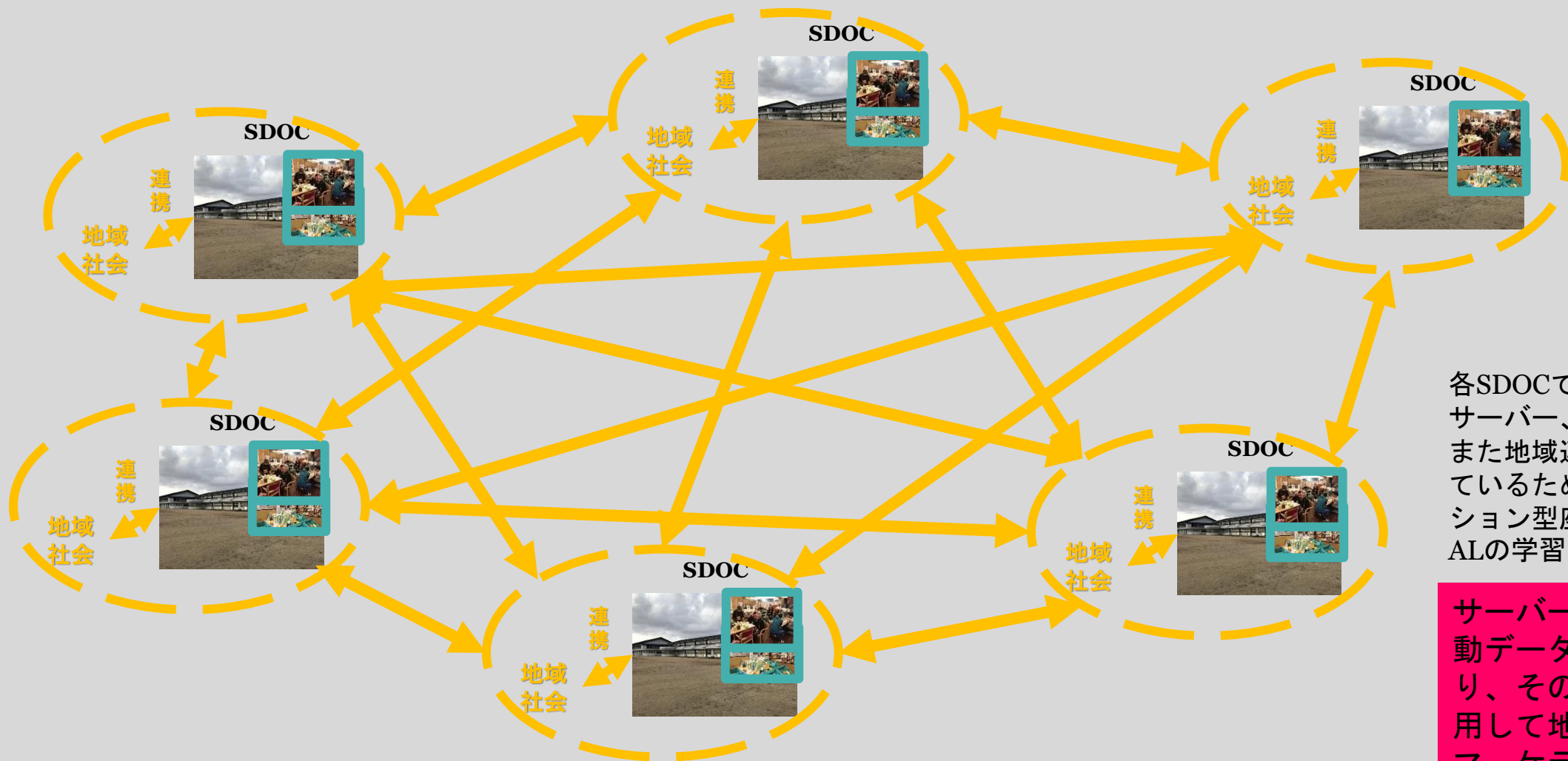
アクティブラーニング

テキスト (TSPモデル電子書籍) による理解の把握

観察を中心とした環境学習、グループワーク

エドベン大学・プロジェクト（オープンネットワーク型地域人財教育プロジェクト）とは

SDOC（シェアリング分散オープンキャンパス：学学連携）の集合体



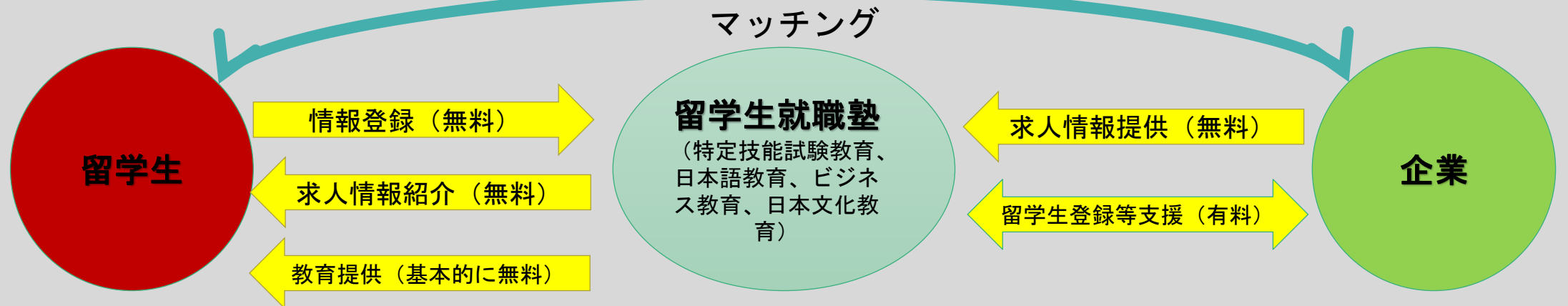
各SDOCでは、ゼミ室、サーバー、Wifiがあり、また地域連携拠点となっているため、ディスカッション型座学と体験型ALの学習が可能。

サーバー内には、行動データの蓄積があり、そのデータを活用して地域づくりやマーケティング研究をすることも可能。

機能のひとつとして、コミュニティ図書館の分散ネットワークサーバーによる仮想情報銀行

留学生就職塾

- 働き手が少なくなっていく中、外国人留学生の就職状況が変化しつつある。今までの研修実習、就労に加えて、特定技能就労が2019年度より始まった。しかし一方で、教育の質が低下している関係もあり、外国人留学生の質の担保において不安なところもあり、受け入れ企業も二の足を踏む傾向が高い。そこで、外国人留学生の質の担保を図りつつ、受け入れ企業とのマッチングを行う団体（協同組合Circulife）を立ち上げ、主に留学生の質の担保において当協会が支援を行う。なお、留学生就職塾は、就職支援のみならず、就職後の留学生の会社の不安等の相談窓口も用意する。



採用までの基本的な流れ

①アルバイト (インターン) → ②就職

言葉塾

提供内容

- 親子で学ぶ日本語（留学生との交流あり）：要請に従い、家庭教師派遣も
- 親子で学ぶ英語（留学生との交流あり）：要請に従い、家庭教師派遣も
- 社会人が学ぶビジネス用語、英語
- 親子で学ぶプログラミング言語


支部活動イメージ

地方地域行政の広報支援、後方支援。（今後、Good Community認証制度、言葉塾を立ち上げていきます。その営業）



- 地域支部会員の募集

SDAメディア研究センターのコンテンツ作成（協会本部はそのための勉強会の実施。協会員は月一回の勉強会には無償参加。（クラファン4,800円コース／月 相当））

–mitai.tv  は地域情報を発信していきます。地域ごとにブログ、写真、動画の構成で地域情報を発信していきます。また、地域おこし協力隊、起業地域産業協力隊（AIC）募集のあった地方行政の案内、また、関係各社からの求人案内。）

–ikou.jp は連携研究プロジェクト及び関連手法の発表（AI手法の開発含む）

- 起業地域産業協力隊（AIC）の募集

SDG s 社会デザイン学修了者を登録していきます（協会入会が前提）。その登録者の募集（←ここは、クラファンに誘導し、その後に協会員？）

- コミュニティ図書館の運営

- ファンの形成 

ファンとは、地域づくりを応援するメンバーのこと。応援の方法として、おらが地域の情報提供、SDAメディア研究センター活動の広報（SNS等）、メルマガの購読。：ファンになることに費用は発生しません。



- クラファン（お試し協会員）の募集

今後展開予定の大学の予備生、また、地域支部協会員候補生、また、AIC候補生。

Good Community 認証

アフターコロナの社会にあっても、安心な社会であることについて、学術的調査に基づき、その認証（有効期限付き）を行う。対象は、行政の観光、地域づくり関連部署向け。認証費用は発生させない。認証のための書類を作成します。

